



2021年7月12日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 50号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。
今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. ガーナ、スイスの大臣に「国内に加工工場を作るためにパートナーを組もう」と提案 (7/8)



ガーナ・ココア・ボード (COCOBOD) の最高責任者である Hon Joseph Boahen Aidoo 氏は、スイスは、ガーナ政府が地元のココア加工・付加価値部門の拡大を目指していることを支援することで、ガーナとの既存の経済関係を強化できると述べています。このような支援は、完成品または半完成品の加工ココアを国際市場に供給するために、ガーナ国内に加工工場を設立するためのパートナーシップという形で行うことができると説明しています。

また、カカオ農園での有機栽培や持続可能な農法の推進、灌漑システムの整備を通じたカカオ栽培の近代化、生産者が生産物から適正な収入を得られるようにすることなども、一緒に検討できる可能性があるかと述べました。

COCOBOD のボスは、スイスのシモネッタ・ソマルガ環境・運輸・エネルギー・通信大臣とともに、代表団を率いてイースタン州の有機カカオ農場、Yayra Glover 社の倉庫、Suhum にあるチョコレート製造メーカーの Fair Afric 社の工場を視察した際に、このように呼びかけました。

このツアーは、スイス公使による 4 日間のガーナ訪問の一環として行われました。また、在ガーナ・スイス大使館からは、フィリップ・スタルダ大使をはじめとする代表団が視察に訪れました。

今回のスイス公使の訪問は、ガーナが欧州連合（EU）と持続可能なカカオ生産について協議している時期と重なっているため、時宜を得たものであると Aido 氏は述べています。また、COCOBOD の政策は、森林を維持・改善するという世界共通の課題に沿ったものであると指摘しました。そのため、COCOBOD はガーナでのアグロフォレストリーの実践を支持しています。カカオの木は、他の森林植物と一緒に成長する森の木であり、農家が農場で他の作物を栽培したり、背の高い永久的な日陰の木を育てたりするのはそのためです。衛星画像を見ると、ガーナで長年にわたって植生がほとんど失われている地域は、ココアが栽培されていない地域であることがわかりますが、ココアのアグロフォレストリーによって、これらの地域に緑を取り戻し、植生を回復させることができるのです」と述べました。

また、COCOBOD では、有機カカオ栽培の利点を農家に伝えています。また、生物多様性に悪影響を及ぼすことから、カカオ農園での除草剤や除草剤の使用も禁止されています。

スイスのシモネッタ・ソマルガ大臣は、ガーナのココア部門がスイスにとって重要であることを認めました。スイスのシモネッタ・ソマルガ大臣は、ガーナのココア部門がスイスにとって重要であることを認めた上で、オーガニック製品に対する世界的な需要の高まりを受けて、ガーナがオーガニックココアの栽培を奨励し続けることが重要であると述べました。

今回の訪問は、ガーナとスイスが気候変動に関する協定を締結し、スイスがガーナの気候保護プロジェクトに投資することになったためです。ソマルガ大臣は「この協定は、ガーナとスイスの双方にとって有益であり、持続可能な投資につながるものです。両国の協力関係は非常にうまくいっているので、とても嬉しい」とコメントしています。

2. カカオ豆、豊富な供給量で 8 ヶ月ぶりの安値に (7/7)

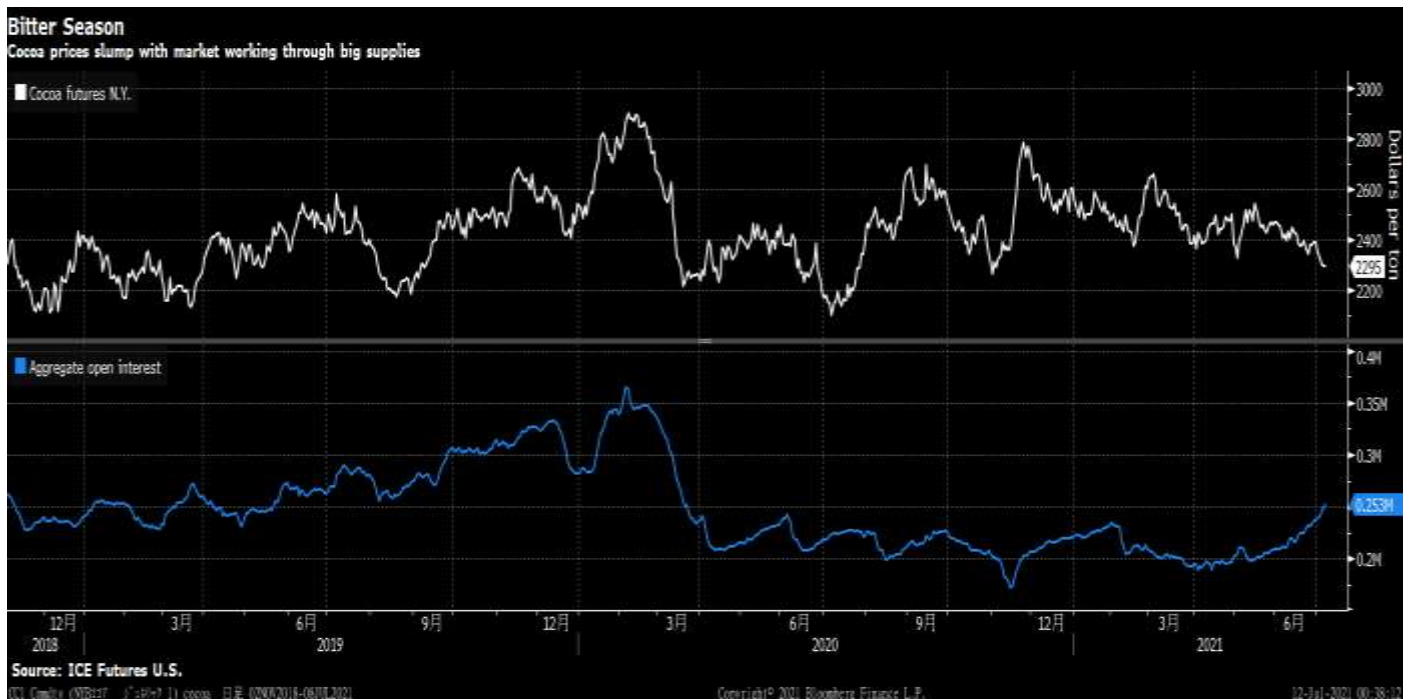
- 欧州の港の在庫は今年に入って 2 倍以上に増加
- 建玉の増加はベア（売り）の勢いを示している。

カカオ豆の価格は、豊富な供給量に圧迫されて 8 ヶ月ぶりの安値に落ち込み、さらに損失が拡大することが予想される。

先週、ニューヨーク市場の 9 月物先物価格は 1.2% 下落して 2,268 ドルとなり、11 月初旬以来の最安値を記録した。ICE Futures Europe がモニターしている欧州の港の在庫は、今年に入って 2 倍以上に増加しており、米国の在庫は先週わずかに減少したものの、供給量は依然としてここ数年で最も高いレベルにあると言われております。最大の生産国であるコートジボワールでは、停電の影響で豆の加工が遅れていますが、雨のおかげで収穫量は増加している状況。

西アフリカのコートジボワールは、世界生産量第 2 位のガーナとともに、昨年、農家の収入向上を目的として、先物価格に 400 ドルのプレミアムを上乘せして販売したことが話題となりました。このコスト増は、パンデミックの影響を受けて豆が倉庫に山積みになる前に発生したものです。

JSG コモディティ社の副社長であるエリック・バーグマン氏は、生産国のサプライヤーは2021年から2022年の収穫に向けて依然として、安値での販売を余儀なくされており、2年連続の世界的な余剰生産が依然として価格の重荷になっていると述べています。



ハイタワー・レポートによると、世界のリスク心理が改善すれば、価格は反発する可能性があるという。しかし、「5月以降の下落で建玉が増加していることから、モメンタムはベアにある」としている。

3. コメルツ銀行、ココアの供給が8ヶ月ぶりの低価格に圧力をかけ続けると発表 (7/10)

コメルツ銀行 (Commerzbank) は、今週初めに8ヶ月ぶりの低水準に落ち込んだカカオの価格は、引き続き供給が重荷になるだろうと金曜日に顧客へのメモで述べた。

コメルツ銀行のアナリスト、カーステン・フリッチ氏は、5月末に国際ココア機関が2020-2021年の備蓄量の見通しを60%増の16万5千トンに引き上げたことを指摘。

「しかし、2大生産国であるコートジボワールとガーナのカカオ生産量が驚くほど多いことから、この数字でもまだ低すぎるかもしれない」と同氏は語った。

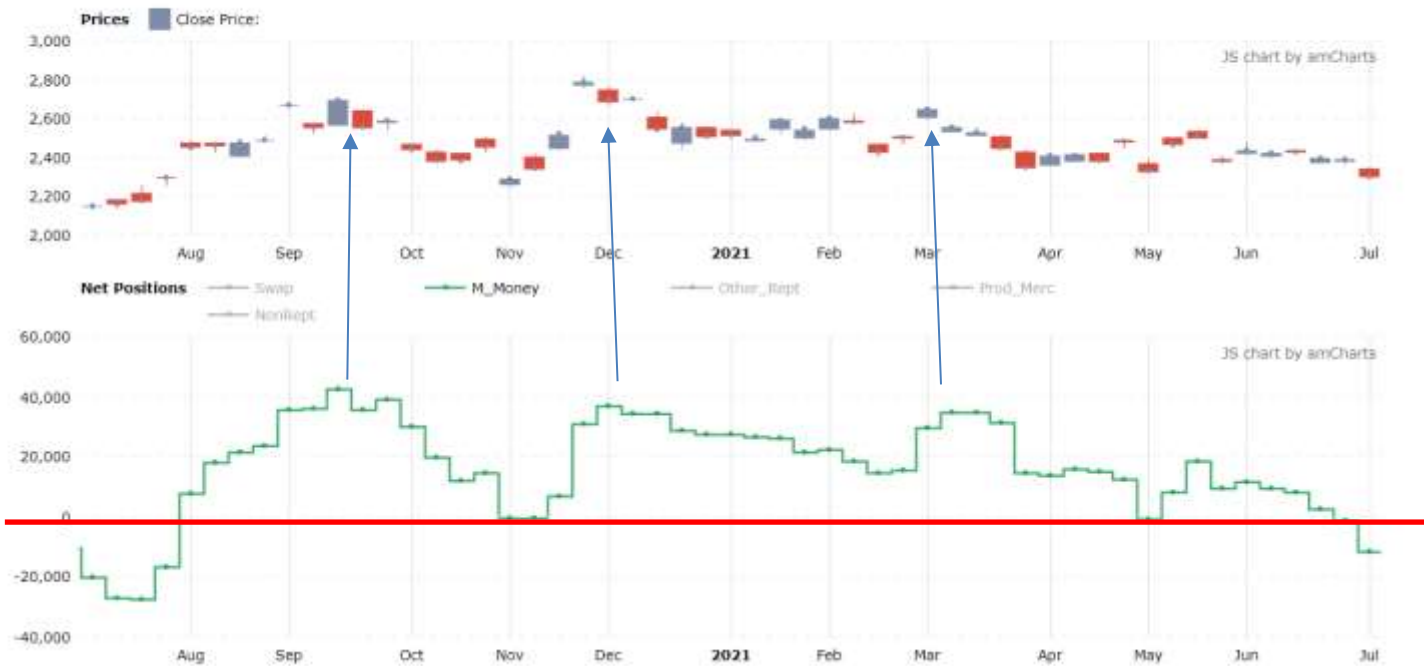
コートジボワールでは、10月から6月までの間に、前年同期比6%増の205万5,000トンのココアが港から出荷されました。コメルツ銀行によると、ガーナの出荷量は同じ期間に98万1,000トンを超えたとガーナ・ココア・ボードが発表している。

4. ファンド勢のNYカカオ先物は純売り越しポジションが増加、11か月ぶりの弱気 (7/10)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は純売り越しポジションへが先週の9,998ロットから11,744ロットに増加して、さらに弱気なポジションとなっている。この数字には、ICE米国先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月6日)の取引が含まれている。

- 純売り越しポジションの総数は過去11か月で最も多い数字 (最も弱気)
- 総買い数量は今週1,914ロット減少し、40,787ロットになった。

Prices & Net Positions



上記の表の上は価格の推移、下の表は投機筋 (Managed Money) のポジションの推移を緑の線で表しています。通常投機筋は先物のカカオを買いポジションを作り、その後売するというパターンが一般的に多く、常に買いポジションの数が売りポジションの数より多いことが多く、その乖離が大きくなる場合に価格の上昇が生じていることが過去1年の値動きからおおよそ推察されます。現在は、1年ぶりに投機筋の売りポジションが買いポジションより多くなり、緑のラインが0よりも下に来ています。これは稀な傾向といえ、そう多くない傾向であることから売り偏重といえます。よって、今週の市場の反発にみられるように、価格は反発していますが、他の記事にもある通り、需給バランス的には大きく相場が上がる要因はほぼないため、現在の上げも調整の一部という感じはします。

気になる兆候としては、販売の方は回復の兆しも出てきているのかなという感じもしています。例えば、ガーナのカカオ磨砕工場では2021年後半から2022年の第1四半期の注文はかなり販売が進んでおり、カカオマスレシオも底堅い感じがしています。一方で新物のコートジボアール、ガーナのカカオ豆のプレミアムは弱含み傾向で産地側の焦りが見て取れます。とはいえ、結論としては、当面大きな方向性がなく、一定レンジでの上下でもみ合うようなイメージを持っていますが、さて、実際は今後どうなるのでしょうか。。

需要がどれだけ回復するか？また新物の作柄がどうか？需要回復が鮮明で、作柄が気候変動などの問題で大きく減少するなどの事実がそろった場合は、一気に価格が上がるなどの可能性もあり得ます。ただそれも可能性の範囲の程度で、やはり当面は上昇の根拠は多くはないと見ています。

5. ファンド勢のロンドン先物は純売りポジションが更に増加。過去3年間で一番弱気に(7/10)

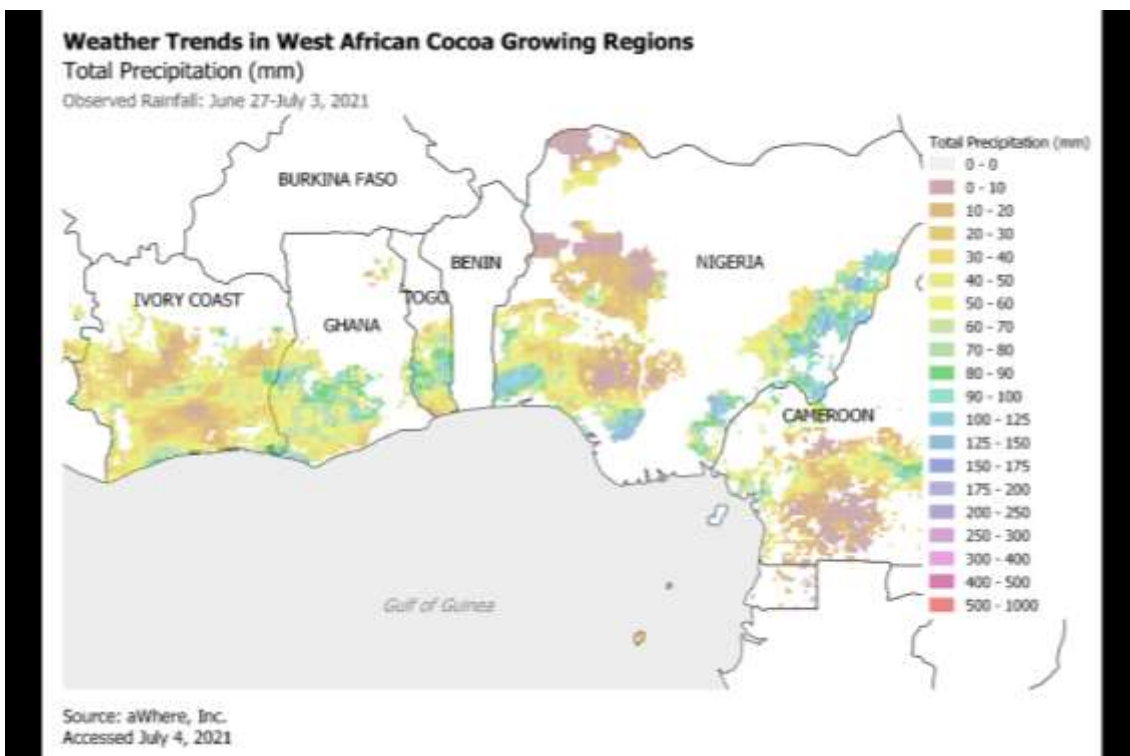
ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを1,577ロット増やして、23,310ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月6日)の取引が含まれている。

- 純売りポジションの総量は過去3年で最も弱気水準（売られ過ぎ状態）
- 買いポジションの総量は7月6日までで、前週より500ロット減少して7,476ロットとなった。
- 買いポジションの総量は、過去最低水準
- 売りポジションの総量は7月6日までで、前週より1,077ロット増えて、30,786ロットとなり、この数字は過去11か月で一番高い数字。

6. アフリカ UPDATE：雨はコートジの作物を助け、ナイジェリアでは病気を引き起こす(7/6)

先週、主要生産国であるコートジボワールでは雨がカカオ栽培に恩恵をもたらしたが、ナイジェリアの一部では豪雨によりブラックポッド病が発生した。

ナイジェリア南東部では、収穫量に悪影響を及ぼすブラックポッド病が発生しているほか、雨によってプランテーションへのアクセスが妨げられ、フィールドワークに支障をきたしている。タラバ州アボンの生産者であるサイモン・ンダガ氏は、「今回の大雨で病気の被害を免れたところはほとんどありません」と述べています。



*7月3日までの1週間における西アフリカのカカオ生産地域の降水量。（資料：aWhere）

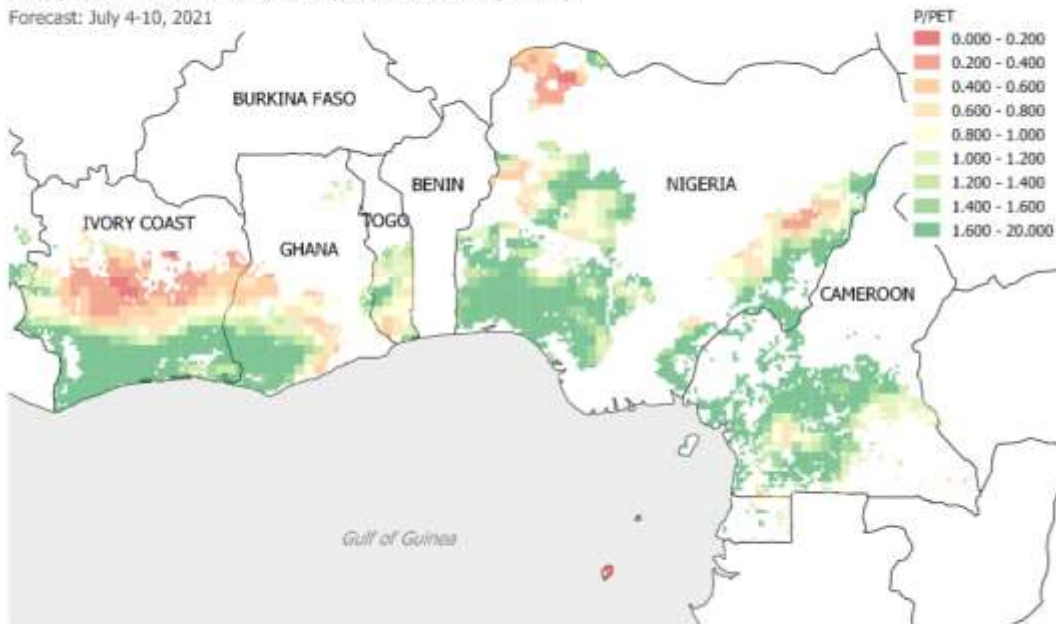
aWhere Inc. のデータによると、今週は西アフリカの多くの地域で水分量が増加すると見られており、コートジボワールとガーナでは雨が来季の収穫の見通しを助けていると農家は述べている。潤沢な供給への期待は、ロンドンで2月につけたピークを約12%下回る水準で取引されているココア先物に圧力をかける可能性があるが、ここ数週間はほぼ安定している。

コートジボワール南部のアザギで農業を営むセカ・セカ・ヴィンセント氏は、「一日中雨が降る日もあり、カカオの木が成長するために多くの水を得ることができるため、カカオの木にとっては非常に良い兆候だ」と語った。

Weather Trends in West African Cocoa Growing Regions

Precipitation Over Potential Evapotranspiration (P/PET)

Forecast: July 4-10, 2021



Source: aWhere, Inc.
Accessed July 4, 2021

*7月4日から始まる週のP/PET予報。P/PETとは、その地域の蒸発需要に対する降雨量の割合を示したものです。比率が1を下回ると、その期間に水分が不足することを示し、数値が低いほど作物へのストレスが大きいことを意味します。（資料 aWhere）

7. マレーシアはカカオの栽培を強化し、シングルオリジンのプレミアム品を目指す (7/7)

マレーシアは、シングルオリジンでプレミアム品質のカカオ豆の生産国になることに注力し、製品がマレーシア基準や食品安全を含むその他の国際的な規制や基準に適合するようにしていくという。

プランテーション産業・コモディティ大臣のDr Mohd Khairuddin Aman Razali氏（以下、モハド氏）は、マレーシア・ココア・ボード(MCB)が、製品の原産地保証をさらに強化するために、カカオ豆のトレーサビリティ・システムを開発していると述べました。

「また、これに関連して、マレーシアは、化学的および微生物学的分析のために ISO/IEC 17025 認定を受けた設備の整った分析研究所を設立し、ココア・リカーおよびチョコレートの官能評価のためのパネリスト・チームがこの業務を担当します」と、本日開催されたオンラインイベント【ベルギーとマレーシアのパートナーによるサステイナブル・チョコレート・インダストリー】にて話しました。

ISO/IEC 17025 は、国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) の略で、科学技術分野の規格の開発、維持、普及に努めている組織です。

モハド氏は、これらの規格が整備されれば、高品質な豆の生産に見合ったプレミアム価格が保証されるため、カカオ農家がカカオ栽培を維持・拡大する動機付けになるだろうと述べています。

「マレーシアのココア栽培・加工産業の発展のために採用されたこれらのアプローチは、持続可能な開発というコンセプトを前提としています。

「様々な国の政策における戦略は、作物の多様化、収入を最大化するための付加価値のある農業の産業化、そして資源の最適な利用に重点を置いて策定されています」と付け加えました。

2020年、ココア部門は国内の輸出収入に62億3,000万リンギット（≒約15億米ドル≒1600億円）を貢献したという。

「しかし、近年の世界の商品市場と国内の取引価格が安定しないため、国内でのカカオ豆栽培への関心が低下しており、一方で、国内で生産されるカカオ豆が不足しているため、同国内にあるカカオ粉碎産業の成長が制約されている」と課題を述べ、「アブラヤシなどの他の作物との土地利用の競合、投入コストの上昇、病害虫

の問題などが、磨砕産業ではアジア屈指の産業規模を誇るマレーシアが上流のカカオ豆の栽培産業を拡大していくのを阻害している主な要因となっている」とその理由についても語りました。

8. 新商品情報：「ホテルショコラ」 夏季限定 カカオを使ったオリジナルメニュー (7/8)

株式会社ホテルショコラ（東京都渋谷区：CEO 兼共同創業者 / クリス ホロビン）は、カカオを使った夏季限定のオリジナルメニュー5種の販売を、2021年7月9日（金）より開始した。今回は、フードメニューを提供する3店舗（中目黒店、ENOTOKI 店、アミュプラザ大分店）限定での販売となる。

カカオニブやカカオオイル、ホワイトチョコレートなど、様々なカカオ素材を使ったメニューを楽しむことができる。



1. サマーカレー&カカオライス ¥1,200(税込)

ホワイトチョコレートでチキンと玉ねぎを炒めることでまろやかに。カカオとカカオニブで贅沢に仕上げたスペシャルなグリーンカレー。

2. セントルシア チーズバーガー ¥1,200 (税込)

ホテルショコラの自社農園があるカリブ海セントルシア島のクレオール料理に伝わる秘伝の味をオリジナルケチャップとして再現。カカオニブをはじめ10種類のスパイスをじっくり6時間煮込む。

3. シャクシュカ ¥1,400 (税込)

アフリカのカカオ農園で出会ったチュニジア料理のアレンジ。ラム肉をカカオオイルに24時間漬け込み、トマト、玉ねぎ、赤ピーマン、そして芳醇なカカオニブとスパイスを加えて仕上げた。

4. ガスパッチョ ¥1,200 (税込)

スペイン発祥の料理をアレンジ。隠し味のカカオニブが、トマトのフルーティーで爽やかな酸味を引き立てる。

5. サーモン スコッチ エッグ ¥1,200 (税込)

イギリスの伝統料理のスコッチエッグのアレンジ。半熟卵とサーモンを、ディルと香り高いカカオニブが引き立て、パン粉をまぶしてカリカリ食感に。

チョコレートに留まらず、常に新しさとオリジナリティを追求するブランドならではのユニークなラインナップと言える。カカオを通じて、今はなかなか行くことができない海外に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

*商品説明および写真は下記プレスリリースより

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000070.000038338.html>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。